

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【公開番号】特開2001-203973(P2001-203973A)

【公開日】平成13年7月27日(2001.7.27)

【出願番号】特願2000-13930(P2000-13930)

【国際特許分類】

H 04 N	5/91	(2006.01)
H 04 N	5/225	(2006.01)
H 04 N	5/265	(2006.01)
H 04 N	5/76	(2006.01)
H 04 N	5/85	(2006.01)
H 04 N	5/907	(2006.01)
G 06 F	17/30	(2006.01)
H 04 N	5/93	(2006.01)

【F I】

H 04 N	5/91	J
H 04 N	5/225	F
H 04 N	5/225	A
H 04 N	5/265	
H 04 N	5/76	B
H 04 N	5/85	Z
H 04 N	5/907	B
G 06 F	17/30	1 7 0 B
G 06 F	17/30	1 7 0 D
G 06 F	17/30	3 8 0 F
H 04 N	5/91	N
H 04 N	5/93	Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月9日(2007.1.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】記録及び／又は再生装置、及び再生方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 表示手段と、

指示情報を入力する入力手段と、

上記表示手段における第1の表示領域に第1のデータを再生表示させ、上記表示手段における第2の表示領域に第2のデータの一部を表示させ、上記入力手段によって入力される再生指示情報を応じて、上記第1の表示領域に上記第2のデータを再生表示させる制御手段と、

を備えていることを特徴とする記録及び／又は再生装置。

【請求項 2】 可搬型であることを特徴とする請求項 1 に記載の記録及び／又は再生装置。

【請求項 3】 上記制御手段は、

上記入力手段によって入力される変更指示情報に応じて、上記第 2 の表示領域に表示されるデータを変更させる、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の記録及び／又は再生装置。

【請求項 4】 上記制御手段は、

上記第 1 の表示領域内における一部領域が上記第 2 の表示領域として表示されるように上記表示手段を制御する、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の記録及び／又は再生装置。

【請求項 5】 上記制御手段は、

上記第 1 の表示領域に上記第 2 のデータを再生表示させる際に、上記第 2 の表示領域を消去させる、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の記録及び／又は再生装置。

【請求項 6】 データを取得するもので、撮像画像及び／又は収音音声については、所定の形式のデータに変換して取得することが可能とされるデータ取得手段と、

上記データ取得手段により取得したデータを記録するための記録手段とを備える、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の記録及び／又は再生装置。

【請求項 7】 外部機器からデータを受信するデータ取得手段を備えている、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の記録及び／又は再生装置。

【請求項 8】 表示手段と、

指示情報を入力する入力手段と、

上記表示手段における第 1 の表示領域に第 1 の主データを再生表示させ、上記表示手段における第 2 の表示領域に副データを表示させ、上記入力手段による再生指示情報に応じて、上記第 1 の表示領域に上記副データと関連する第 2 の主データを再生表示させる制御手段と、

を備えていることを特徴とする記録及び／又は再生装置。

【請求項 9】 可搬型であることを特徴とする請求項 8 に記載の記録及び／又は再生装置。

【請求項 10】 上記制御手段は、

上記第 2 の表示領域に複数の副データを所定の配列で表示させる、

ことを特徴とする請求項 8 に記載の記録及び／又は再生装置。

【請求項 11】 上記副データは、オーディオデータであることを示す画像情報である、

ことを特徴とする請求項 8 に記載の記録及び／又は再生装置。

【請求項 12】 上記第 2 の主データは、オーディオデータを含み、上記副データは、上記第 2 の主データを示す 1 以上の静止画データである、

ことを特徴とする請求項 8 に記載の記録及び／又は再生装置。

【請求項 13】 上記制御手段は、

上記入力手段によって入力される変更指示情報に応じて、上記第 2 の表示領域に表示される副データを変更させる、

ことを特徴とする請求項 8 に記載の記録及び／又は再生装置。

【請求項 14】 上記制御手段は、

上記第 1 の表示領域内における一部領域が上記第 2 の表示領域として表示されるように上記表示手段を制御する、

ことを特徴とする請求項 8 に記載の記録及び／又は再生装置。

【請求項 15】 上記制御手段は、

上記第 1 の表示領域に上記第 2 の主データを再生表示させる際に、上記第 2 の表示領域を消去させる、

ことを特徴とする請求項 8 に記載の記録及び／又は再生装置。

【請求項 16】データを取得するためのデータ取得手段と、

上記データ取得手段により取得したデータを記録するための記録手段と、

を備えていることを特徴とする請求項 8 に記載の記録及び／又は再生装置。

【請求項 17】上記データ取得手段は、

撮像画像及び／又は収音音声を、所定のデータ形式に変換可能である、

ことを特徴とする請求項 16 に記載の記録及び／又は再生装置。

【請求項 18】上記データ取得手段は、外部機器からデータを受信するようにされている、

ことを特徴とする請求項 16 に記載の記録及び／又は再生装置。

【請求項 19】ランダムアクセスが可能な記録媒体からデータを読み出す読出手段を備える、

ことを特徴とする請求項 8 に記載の記録及び／又は再生装置。

【請求項 20】表示手段の第 1 の表示領域に第 1 のデータを再生表示させ、該表示手段の第 2 の表示領域に第 2 のデータの一部を表示させるステップと、

入力手段によって入力された再生指示情報に応じて、上記第 1 の表示領域に上記第 2 のデータを再生表示させるステップと、

を有することを特徴とする再生方法。

【請求項 21】表示手段の第 1 の表示領域に第 1 の主データを再生表示させ、該表示手段の第 2 の表示領域に副データを表示させるステップと、

入力手段によって入力された再生指示情報に応じて、上記第 1 の表示領域に上記副データと関連する第 2 の主データを再生表示させるステップと、

を有することを特徴とする再生方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

そこで本発明は上記した課題を考慮して、先ず記録及び／又は再生装置として次のように構成する。

つまり、表示手段と、指示情報を入力する入力手段と、表示手段における第 1 の表示領域に第 1 のデータを再生表示させ、表示手段における第 2 の表示領域に第 2 のデータの一部を表示させ、入力手段によって入力される再生指示情報に応じて、第 1 の表示領域に上記第 2 のデータを再生表示させる制御手段とを備えることとした。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、記録及び／又は再生装置として次のようにも構成する。

つまり、表示手段と、指示情報を入力する入力手段と、表示手段における第 1 の表示領域に第 1 の主データを再生表示させ、表示手段における第 2 の表示領域に副データを表示させ、入力手段による再生指示情報に応じて、第 1 の表示領域に副データと関連する第 2 の主データを再生表示させる制御手段とを備えることとした。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、再生方法として次のように構成することとした。

つまり、表示手段の第1の表示領域に第1のデータを再生表示させ、該表示手段の第2の表示領域に第2のデータの一部を表示させるステップと、入力手段によって入力された再生指示情報に応じて、上記第1の表示領域に上記第2のデータを再生表示させるステップとを有して構成する。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、再生方法として次のようにも構成することとした。

つまり、表示手段の第1の表示領域に第1の主データを再生表示させ、該表示手段の第2の表示領域に副データを表示させるステップと、

入力手段によって入力された再生指示情報に応じて、上記第1の表示領域に上記副データと関連する第2の主データを再生表示させるステップとを有して構成することとした。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記各構成によれば、データについての表示にあたり、1つの表示画面（表示手段、表示部位）上において第1の表示領域による表示と第2の表示領域との2つの表示領域による表示とが同時に行われる。そして第1の表示領域においては再生出力すべきデータの再生表示、又は再生出力中にあるデータを示し得る副データの表示が行われ、第2の表示領域においては、データの一部又は関連する副データを表示するようにされる。そのうえで第2の表示領域にその一部又は関連する副データが表示されているデータを再生させるための操作も可能とされる。

これは、即ちデータの再生表示と同時に、データを視覚的に把握し得る情報を表示させているものであり、更に、この第2の表示領域に対して再生操作が行えることを意味する。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0161

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0161】

そして、例えば上記したジョグダイヤル303の回転操作によってファイル検索を行い、或るファイルに対応するサムネイル画像が検索用子画面CP内に表示されている状態の下で、ジョグダイヤル303に対して押圧操作を行ったとする。

この時の状態として、例えば検索用子画面CP内に表示されているサムネイル画像に対応するファイルが画像ファイルであったとする。つまり動画ファイル又は静止画ファイルであったとする。そして、この状態が、先に説明した図13(b)に示す場合であったとする。

上記したジョグダイヤル303に対する押圧操作は、再生指示操作となる。従って、図13(b)に示すようにして、画像ファイルに対応するサムネイル画像を検索用子画面C

P 内に表示させた状態でジョグダイヤル 303 に対する押圧操作が行われたとすれば、これまでの再生主画面 PP としてファイル再生は終了され、これまで検索用子画面 CP 内に表示されていたサムネイル画像が対応するファイルの再生出力が開始される。そしてこれに伴って、図 13 (e) に示すようにして、表示パネル 67 においては、この再生出力が開始されたファイルの再生画像が再生主画面 PP として表示される。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0194

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0194】

ステップ S 211 に続くと される ステップ S 212 としての処理によっては、検索用子画面 CP 上にて検索したファイルについての決定操作（ジョグダイヤル押圧操作）が行われたか否かについて判別しており、ここで否定結果が得られたのであればステップ S 214 の処理に進む。

これに対して、ステップ S 212 において決定操作が行われたと判別された場合にはステップ S 213 に進む。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0204

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0204】

【発明の効果】

以上説明したように本発明は、表示手段（表示パネル）において、第 1 の表示領域（再生主画面）に対して記録媒体から再生出力すべき第 1 のデータを表示させると共に、第 2 の表示領域（検索用子画面）に対しては、第 2 のデータの一部（サムネイル画像）を表示させるようしている。そのうえで、例えば検索用子画面が表示されている状態で再生指示が行われた場合には、このとき検索用子画面 に その一部が表示されているデータを、再生主画面に表示出力させるようしている。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0206

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0206】

また本発明としては、表示部位（表示パネル）において、第 1 の表示領域（再生主画面）に対して第 1 の主データ又はこの第 1 の主データに関連する副データ（アイコン表示のサムネイル画像等）を表示させると共に、第 2 の表示領域（検索用子画面）に対しては、第 2 の主データに関連する副データを表示させ、上記構成と同様に、検索用子画面が表示されている状態で再生指示が行われた場合には、このとき検索用子画面 に その一部が表示されているデータを、再生主画面に表示出力させるようしている。そして、これによつても上記と同様の効果が得られる。